

事前評価チェックシート

計画の名称： 快適な生活環境の実現（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 ④円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ④円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ④円滑な事業執行の環境 3) 関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) 事業に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 継続的な事業の展開が見込まれる。	○

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月07日

計画の名称	快適な生活環境の実現（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	秋田県												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少下での下水道事業の効率化を図るため、県と市町村との協働により、流域下水道を核とした生活排水処理の広域化・共同化による施設の統廃合を推進する。 ・秋田県南部の4市2町1組合を対象とした、県南地区広域汚泥資源化事業を進めていく。 ・PPP/PFI手法により、効率的な事業運営を行う。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,640	A	1,640	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	県南地区に建設する広域汚泥資源化施設の設備完成度を、0.0%（R2当初）から100.0%（R6末）にする。 県南地区広域汚泥資源化施設の設備完成度（%） 完成した設備数（箇所） / 全体計画設備数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	秋田県	直接	秋田県	終末処理場	新設	県南地区広域汚泥資源化事業	汚泥資源化施設	秋田県県南地区	■	■	■	■	■	1,640	1.32	—
											小計						1,640		
											合計						1,640		

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	快適な生活環境の実現 (重点計画)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	秋田県

県南地区



A07-001 県南地区広域汚泥資源化事業

凡 例

- 認可計画区域
- 流域幹線
- ポンプ場
- 処理場

整備予定箇所の色分け

- 新 設
- 増 設
- 改 築

流 ...流域下水道終末処理場
S ...単独公共下水道終末処理場
L ...七層処理場